

# 正泉寺・五郎田遺跡 発掘だより

第4号      2024.11.27

## <遺跡の様子がわかってきました>

今年度の発掘作業が始まり6ヶ月が過ぎました。8月からは北側の3区の調査も始まり、今年度の調査区（正泉寺遺跡1・2・3区、五郎田遺跡5区）の様子が明らかになってきました。10月末現在でたてあなだてものあと 竪穴建物跡約60軒、ほったてはしらだてものあと 掘立柱建物跡2棟、どこう 土坑約130基を確認しています。

竪穴建物跡は、古墳時代中・後期、奈良・平安時代のもので、当初から重複した状態であることを想定していましたが、建て替えなどが行われたことなどを含め、予想を超える軒数の竪穴建物跡が造られていることがわかりました。



正泉寺遺跡 1区～3区 空撮写真



古墳時代の<sup>たてあなだてものあと</sup>竪穴建物跡

高坏や小形壺などの土器とともに打製石斧が多く出土しました。この時期に打製石斧が多いのは、飯田地域の特徴でもあります。



古墳時代竪穴建物跡 土器・石斧出土状況



奈良時代の竪穴建物跡

炭化材が竪穴建物内の広い範囲にありました。床面のほかに壁際に多くみられました。



ほったてばしらだてものあと  
掘立柱建物跡

柱穴が方形に並んでいます。複数ある土坑の中で、ほかにも掘立柱建物があることが想定されます。

### 現地説明会を行いました。

9月14日(土)に、現地説明会を行いました。調査中の遺跡やこれまでに出土した土器や石器のほか銅製の<sup>じかん</sup>耳環などを公開し、地元をはじめ多くの皆様に見ていただくことができました。



調査も終盤になりました。予想以上の成果を得ることができています。

長野県埋蔵文化財センター 飯田支所

〒395-0151 飯田市北方 297-5

電話：0265-49-0736

メール：[maibun@naganobunka.or.jp](mailto:maibun@naganobunka.or.jp)

H P：<https://naganomaibun.or.jp/>

担当：長谷川/綿田/遠藤